

「感謝」の言葉を大切に

望の丘ワークセンター 施設長

みやまきとしひろ
宮崎 曉弘さん

できることに取り組む

「感謝」をモットーに、26人の利用者が作業に取り組んでいます。利用者の中には加齢などによりできる作業が限られている人もいますが、それぞれができることを一生懸命頑張っています。

利用者は、主に果物・野菜・豆腐・おから茶・おからパウダー・ジャム・縫製品などの生産、清掃・環境美化活動などに取り組んでいます。また、働きたいを感じ



「働く」を支える

高梁市自立支援協議会就労部会

障がい者が就労するためには、特別な支援や仕組みを構築することが求められます。

市は、障害者総合支援法に基づいた地域の障害福祉に関するシステムづくりについて中核的な役割を果たす協議の場として、高梁市自立支援協議会を平成18年に設置しました。同協議会は「地域生活」「児童」「就労」「精神保健」の4つの部会を中心としてさまざまな活動をしています。このうち障がい者の就労を支えているのが「就労部会」です。

就労部会では、ハローワーク高梁、たかはし障害者就業・生活支援センター、たかはし発達障害者支援センター、倉敷まきび支援学校、健康の森支援学校、就労継続支援事業所、地域活動支援センターなどと連携し、障がい者の就労促進や問題の解決、就労系福祉サービスの実現など、障がい者の「働く」を支援していくために毎月会議を行っています。

ることができるよう企業との提携や協力を得て幅広く事業を展開したり、生産品のラベルを専門のデザイナーに依頼してクオリティーを高めたりすることで、利用者の工賃向上に努めています。

多くの協力のおかげで

私たちの施設では12人の職員が働いています。利用者が働く喜びを感じながら社会に参加することができるよう職員全員で支援しています。現在まで続けることができているのは、地域の皆さんや多くの関係機関の協力があったからだと思っています。

利用者も施設も「感謝」される存在になれるように、また、皆が笑顔で元気に作業に取り組む、必要とされる存在になることができるように、利用者や家族、地域の皆さんや関係機関と連携しながら頑張っていきたいと思っています。

就労部会の主な取り組み

地区別懇談会

特別支援学校高等部の生徒・保護者を対象に、市内の福祉事業所の活動、利用方法などを紹介はたらくマーケット

障がい福祉事業所による生産品の販売

就職面接会のサポート

障がい者の雇用を考えている市内の企業と求職を希望する障がい者の紹介



会議の様子(就労部会)

一般就労に向けた支援を

やまなみ サービス管理責任者

すやまなるみ
須山 成美さん



一般就労に向けた生活の確保

市内唯一の就労継続支援A型事業所である「やまなみ」では、9月末現在で22人の利用者が元気に働いています。普段の業務だけでなく、あいさつをしたり生活習慣を見直したりするなど、一般就労へ向けた日常生活の確立を心がけています。

利用者はハローワーク高梁からの紹介を受けて事業所を利用しています。私たちも定期的にハローワーク高梁を訪問し、利用者の状

働くための環境を

高梁市自立支援協議会就労部会 部会長

もりわきかずと
森脇 和人さん



就労部会では、「働きたい!」と思う人が普通に働き、普通に生活できる社会の実現を目指しています。そのために、街頭での啓発活動や市内事業所での生産品の販売、就職面接活動などさまざまな活動を行っています。

障がい者が働くためには、そのための環境づくりが大切です。働く場所を増やしたり制度を整えたりするだけでなく、障がい者の「働く」を皆さんが理解することこそ、障がい者へ勇気を与えてくれるのではないのでしょうか。

況を報告したり相談をしたりしています。また、就職した人に対しては職場を訪問し、「就職定着支援」を行っています。

事業所としての役割を

就労継続支援A型事業所を市民の皆さんに知っていただくために、事業所の見学の受け入れや関係機関との連携強化に取り組んでいます。私たち事業所、市やハローワーク、高梁市自立支援協議会などそれぞれが役割を分担することで、障がい者を支えていくのではないかと考えています。



油あげを作る利用者

福祉フォーラム2019

9月21日に高梁小学校体育館で「たかはし福祉フォーラム2019」(市・高梁市自立支援協議会主催)を開催しました。

これは、障がいや障がい者に対する理解を深め、誰もが相互に人格と個性を支えあう共生社会の実現を目的に毎年開催しているもので、当日は市内の福祉事業所による屋台や高梁高校・高梁城南高校などによるステージイベント、絵画コンクールの表彰式などが行われました。



各事業所による屋台



手話の体験コーナー